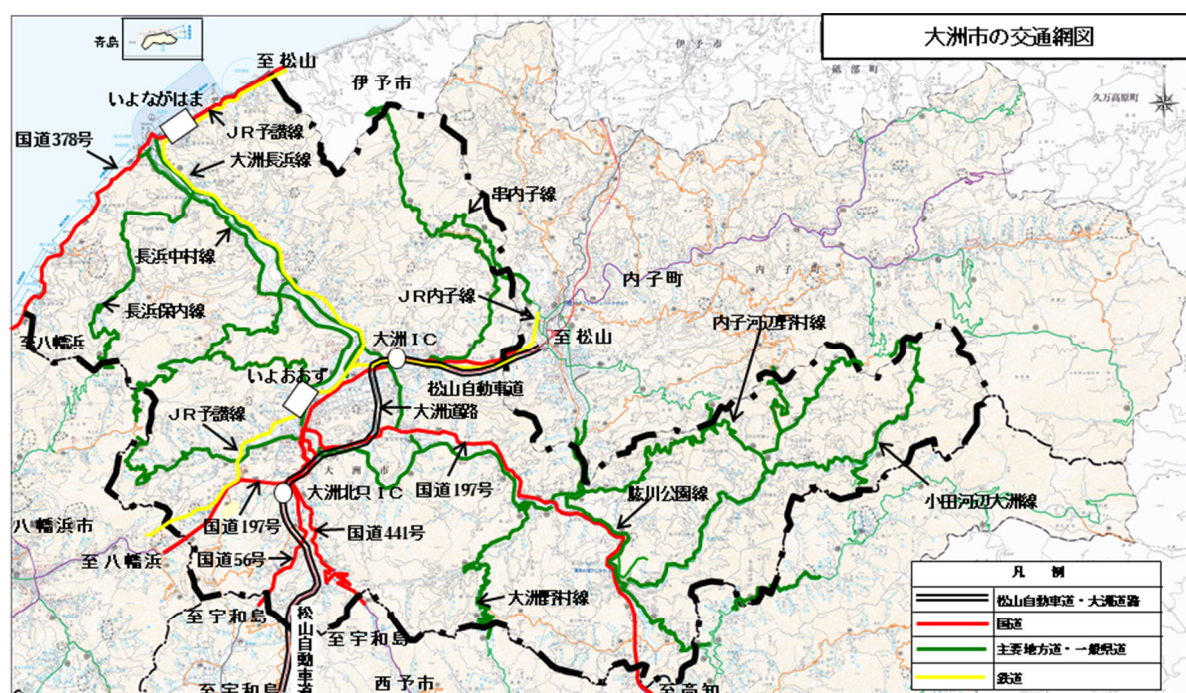


2-2-5 交通ネットワーク

本市には、南北幹線の国道 56 号、東西幹線の国道 197 号、海岸沿いに走る国道 378 号、高知県に伸びる国道 441 号の 4 本の国道が広域交通網を形成しています。また、大洲長浜線、長浜中村線、小田河辺大洲線などの主要地方道が地域内をつないでいます。

高速道路では、四国縦貫自動車道（徳島・松山自動車道）の徳島～大洲間が 2000 年（平成 12 年）7 月に全線開通するとともに、四国横断自動車道（松山自動車道）も 2012 年（平成 24 年）3 月に大洲北只～宇和島北間が開通し、さらに宇和島道路も 2015 年（平成 27 年）3 月に全面開通しています。

また、地域高規格道路（大洲・八幡浜自動車道）についても、八幡浜市方面から本市に向けて整備が進んでおり、今後さらに広域的な交通の利便性が向上する予定です。



出典：大洲市「大洲市の都市計画」（2021 年（令和 3 年）3 月）
図 2-12 本市の交通網図（令和 3 年）

2-2-6 環境に関わる取組や課題

本市における環境に関わる取組や課題は、第 2 次大洲市総合計画によると以下のように示されています。

■ 現況と課題

- ・近年、地球温暖化をはじめとした環境問題は、ますます深刻さを増しているといえます。
- ・本市では、2018 年（平成 30 年）に「第四期大洲市地球温暖化対策実行計画」を策定し、脱炭素社会の形成促進に向けて、啓発活動や二酸化炭素の排出抑制に努めてきました。
- ・今後は、より良い地球環境を未来に引き継ぐために、市民や事業者、行政が連携して、地球温暖化の防止対策や省資源化に取り組むとともに、再生可能エネルギーの導入・活用に向けた取組をさらに充実していく必要があります。